



特集 町政懇談会

いきいき・ふれあいトーク



町長と直接対話の場、町政懇談会を開催しました。今年度は、より参加しやすく話しやすい形態で、より幅広い町民のみなさまの声を聴こうと、各年齢層や対象ごとに「いきいき・ふれあいトーク」として7月から順次開催。老人、女性、子育て世代のパパママ、また、中学生と高校生も対象に開催し、各層や世代ごとに様々な視点から、活発な意見交換が行われました。

また、天売、焼尻両島では、今年も離島地区町政懇談会を開催しました。今後は、10月に産業別町政懇談会、11月には、「いきいき・はほろふれあいトーク」として対象を限定せずにどなたでも参加できる形態で開催を予定しています。

「ご意見、ご要望、ご提案等は、充分検討し関係機関とも協議を進めながら、今後の町政に活かし、できることから取り組んでまいります。今月号では、9月まで開催分の意見交換の一部を抜粋してご紹介します。」（印は参加者の発言内容、印は町長他の発言内容です。掲載の都合から、発言の内容は一部その後の対応を含め、編集して掲載しています）

いきいきシルバー ふれあいトーク

朝日公園について

◆朝日公園(菖蒲園)、菖蒲の花が少なく残り、残念な状態になっている。国道には大きな看板もあるのに、...。専門家にお願ひして、植え替えするなど、菖蒲をきれいに咲かせてほしい。(同様の意見、いきいき女性でも有)

中途半端ならやめた方がいいという意見もあるが、菖蒲園は、羽幌の観光でいい役割を果たしている。いろいろな意見はあるが、菖蒲園のあり方について、きちんとした方向を決めなくてはならないと思っています。

町道の草刈・管理について

◆町道の草刈。年に何回やっているのか。1回目の草刈が遅い。大型雑草が延びて道路が覆われ、カーブや出入口の視界が狭くなり、見づらい。

冬の除排雪を民間委託しているが、道路管理もこの7月から民間委託にしている。町道の草刈は、年2回の実施だが、今年度は契約の関係から

1回目の実施が遅れた。今後はバトロールを徹底し、的確な時期に実施していきます。

地デジ対応について

上築集会所のテレビだが、チューナーを買いなおしてもないので困っている。町で助成する余裕はないか。

チューナーは、今、町内全体で手に入りづらい状況と聞いている。上築集会所は町の施設だが、テレビは老人クラブの備品なのでクラブで対応をお願いしたい。川北老人福祉センターなど、町の備品のテレビは、地デジ対応は済んでいます。

施設の整備や改修の要望

老人憩いの家のカラオケセットがだめになっている。どうかしてほしい。

◆老人憩いの家の和室。畳の一部でもいいから板敷きにしてほしい。スマイルポウリングに使用するとき、コンパネを敷いているが大変。畳も古いし、じゅうたんも20年も使っている。

カラオケセットは寄贈されたもので、修理不能になっている。床については、老人クラブのみなさんで使っている

施設なので、みなさんでよく話し合っただけで、相談しながら検討します。

ゲートボール場のトイレ(南町運動広場テニスコートのトイレ)を水洗にしてほしい。管内の大会もあるし、野球の大会などでも使っている。臭いもひどい。公共施設の水洗化は、計画的に実施しているが環境衛生を進めている以上、しなくてはならない。水洗化します。(※9月補正予算で対応済)

廃校施設の管理について

◆旧幌北小学校だが、中にトコロファイヤーとか使っていたものが沢山ある。老人クラブで鍵を預かり草刈している。懐かしかったのでなんとかしてほしい。

保存すべきものは教育委員会が別途保管している。不要と判断されたものが置いてあるが、対応を検討します。(※現地を確認し残っている物品は一室に集め施設し人目につかないように配慮対応済)

お祭り・郷土芸能について

◆羽幌のお祭り。すごく感激する。町の一大イベントだが、

加賀獅子など団体の支援に町はタッチしていないのか？

誇れる祭りで、観光の売りにできないかも議論に出ています。基本的には団体の問題だが、郷土芸能として守っていくべきものと思う。すぐさま補助を出すという事ではないが、どういう守り方があるのかということ。筑子(つとこ)などと同じと思うが考えていきたい。

都市計画や公共工事について

旧道立病院の跡地はなにか計画あるのか？火葬場も建つが、浜風ですごいと思う。建物の建設は、周辺に木を植えるなども平行してやるべき。

道立病院の跡地は、都市計画の中で、具体的には決まっていな。工事は一般的に外構工事が最後の発注になるが、意見として聞いておきたい。

合宿誘致について

◆合宿誘致をインターネットなどでやってはどうか？

今、羽幌町でも実施している。今年度はラグビーと野球が主だが、宿泊費の一部を補助するなどの支援をしています。羽幌町ホームページでも掲載して取り組んでいます。



いきいき女性 ふれあいトーク

◆パークゴルフ場について
夜間照明について、夜の利用者はほとんどいないと思うが、どうなんですか？

この春から、常時点灯をやめて、使うときだけ点灯するように変更している。曜日も決め、効率のいい手法に変更しました。

◆協力金のことは、たまにか行かない人はわからない。浸透してないのでは。毎日行ってる方は毎日きちんと入ってるんですか？どのくらいの人がきちんと協力しているんでしょうか？

協力金は最初、年間で80万円近く集まっていたが、今は30万円にもいかない。もちろん、集まった協力金はパークゴルフ場のために使われるので、善意の良心から考えて、ご協力いただければと思います。

◆パークゴルフ場の夜間照明が常時点灯でなくなったことに関連するが、サッカー少年団で自転車を利用しての子たち、練習の帰り、遅い時間は暗くなり危険です。サッカー

場はスポーツ公園の奥にあり、途中には砂利道もあるし、最近には熊の出没もある。なんとかならないでしょうか。

練習で暗くなつてから帰る少年団は他にもある。全体的な問題として考えたい。当面の対応として、子どもの安全について配慮するよう少年団に要請し、照明などの整備については利用状況や電源の確保等の問題もあるので、今後の課題として検討します。



◆子ども達の自転車マナーが悪い。ライトをつけずに乗っている子も多い。
マナーは家庭でも学校でも普段から教えずにはならない。(※少年団や学校を通じ交通安全の指導を要請の他、広報で地域に向け啓発記事を掲載して対応)

自転車マナーについて

◆花が咲いた後の花ガラが、たくさん残っていて残念。きれいにしてほしい。職員は花ガラ摘みに1日中せいっぱいだが、

バラ園について

われるようにするのは我々の役目。また、住民のみなさんにもそこにいるるなことをやっていただくことで、自分達のものだ、自分達で守らなくてはという意識が広まっていく、そういう意識も大切だと思っている。

◆進学などで、一旦は羽幌を出ても、将来は帰って来たい生徒はたくさんいるが、町は雇用対策を何かしていますか。
町でやるのは雇用対策というより雇用のための「地域の活性化」。たとえば公共事業をやることでその会社が成り立ち、そこで働いている人の給料が賄われ、雇用が守られるという構図がある。企業誘致とかで新たな雇用を生むというより、この地域の経済を活性化することから、なんとか雇用を広げようという取り組みをしている。

雇用対策について

◆町長は羽幌をどんな町だと思えますか。
▼羽幌は隣近所や地域の繋がりの強い町。人口が減ってはいるが、ある意味、今

羽幌について

◆東日本震災への町の対策
義援金はなくなったのかと、羽幌町として特別なことをやったのか知りたい。
義援金は日本赤十字社を通じて被災地に送っています。支援については広報でも紹介したが、消防が2班8名、役場から4班8名が現地に行つた。石巻市から直接要請があったが、職員は大変な中で仕事をしています。(義援金総額などは広報7月号15頁をご覧ください)



いきいきジニア ふれあいトーク

炭鉱跡地の活用について

◆炭鉱跡をもっと観光的なものとしてアピールしたいと思う。今、廃墟ブームで若い人に人気となっている。

今は、草刈をしたりする程度で、廃墟のままの姿を見ていただいている。手をかけて、観光産業にもっていくのはなかなか難しい。今年は観光協会がパンフレットを作つて配布したりしている。今の状況の中で、やれることをやっている。

教育と福祉について

◆これから町は、教育と高齢者の福祉どちらに力を入れた活動をしていこうと思つていますか。
選択肢は二つだけではない。高齢者に対しては町として取り組まなくてはならない現実がある。一方、その高齢者を支えるのは若い人だ。高齢者を支えるように大きくなってほしい。みなさんの勉強する環境は、町もサポートを思っている。教育か福祉かではなく、みんなのためにやっていきたい。



◆役場前の通り、植樹枡に花もなく、さみしい。日赤奉仕団が草取りをしているが、草取り後は緑も花もなく、土だけ。通りがきれいだと気持ちがいいし、心がなごみます。
◆植樹枡は土も足りない。客土しないとだめな状態の枡が多い。
◆役場で無料配布しているコンポストも利用できるのでは。環境美化については、町内会やボランティア団体などで取り組まれています。管理されている所がある一方、管理ができない又は年々管理が難しくなっている所もあることから、今後の対応について検討していきます。町の中の緑化計画ということで、今、取り組んでいる総合振興計画という大枠の中でとらえていかなくてはならない問題と想っています。



◆役場前の通り、植樹枡に花もなく、さみしい。日赤奉仕団が草取りをしているが、草取り後は緑も花もなく、土だけ。通りがきれいだと気持ちがいいし、心がなごみます。
◆植樹枡は土も足りない。客土しないとだめな状態の枡が多い。
◆役場で無料配布しているコンポストも利用できるのでは。環境美化については、町内会やボランティア団体などで取り組まれています。管理されている所がある一方、管理ができない又は年々管理が難しくなっている所もあることから、今後の対応について検討していきます。町の中の緑化計画ということで、今、取り組んでいる総合振興計画という大枠の中でとらえていかなくてはならない問題と想っています。



いきいきパママ ふれあいトーク

保育園について

◆保育園の先生たちがいつもすごく忙しい。園での子どもの様子とかを、おたよりのなもので情報発信してほしい。忙しくてできないと言われた。直接聞いてと言っても聞きづらい。もう少し先生たちがゆったり保育できる方法があると思う。保育士の体制は定められた人数配置で動いており、保育士が足りないということではない。経験などにより慣れない中ということも考えられる。どういう状況でそうなっているのか調べ、工夫してみたい。

出産のとき、病院が遠くて大変でした。病院の問題は、子育て世代だけではなく大変な問題。地域の安心につながる絶対条件と思っている。医師確保の政策として研究費用の支援など独自対策もとっているが、なんとか少しでも前進するよう最大限の努力をしたい。

保育政策について

◆保育政策について国の政策がというが、政権が変わったら町の考えも変わるのか、町としてこうやりたいという意見はあるのか。政権の問題ではなく、今、幼稚園と保育園が本来の意味で一本化できないものかという話にやっとなっている。保育園の保育内容は幼稚園化して

きているし、幼稚園は長時間保育が求められ保育園化してきている。以前は福祉と教育で色分けされていたが、今は見分けがつかない状況になってきている。保護者のニーズもたくさんある中で、一本化は、今本筋かなと思う。町立保育園一つと私立の幼稚園二つという状況を考えれば、こうあるべきという強烈な目標はできていない。次の世代へどう繋いでいくのか慎重に考えなくてはならない。

◆幼児一元化のときは、公立になるのか？

まだわからない。しかし、制度が変わる狭間で保育園の建て替えの問題がある。どうするかたちが一番いいのか、流れの中で幼保一体化も考えなくてはならない。財政や規模のことも含めて保育園のあ

り方を考えようとしている。結論は今年中に出したいと思っている。基本的立場として、民間の取り組みを圧迫したくないということもある。

集いや遊びの場について

◆親子で気軽に遊びに行く場所がほしい。1歳を過ぎると「あいあいサークル」の対象年齢を外れるし、次の「小苺くらぶ」は1歳6ヶ月から対象。「うさこちゃん遊びの広場」もあるが、週2回だけ。公園などもあるが、特に天気の良い日や冬は行くところがなく困っている。事業のその他の日もなにかあるといい。

◆健康センターで事業のない日には、その場所を開放してくれてもいい。場所さえあれば自分達で自由に行って遊べる。総合体育館にキッズル

ムあるが遊べる遊具がもつとあるといい。年中、年少には物足りない。アリーナでもなにかできるといい。

◆小さい子から小学生に毎日解放して、いつでも自由に行って遊べる場所、児童館があるといい。

◆働いているお母さんが多くて、留守家庭児童会（こぐまさん）も子どもが多すぎて、狭い場所できゅーぎゅー詰りになって遊んでいると聞く。児童館のようなどころがあるといい。



保育士による託児を実施して開催

離島地区町政懇談会

離島航路の運行体制（焼尻）

◆新しい高速船はどのようなのか。もう決めたのか。島民の意見は入っているのか。今でも、ちょっと時化たら出られないのに、今より小さく荷物も積めないのに本当にいいのか。

赤字航路なので、1隻体制が検討されたが、やっとならぬ方向が固まった。理由は、ドック期間の代船がないこと、日帰り観光が難しくなること、離島住民の利便性が悪いということ。2隻ともフェリーにするには、2隻分の貨物需要がなければ国の認可がおりない。フェリー1隻と、もう1隻は高速船。昨年、国、道、羽幌町、事業者、関係機関と利用者代表の各島1名で協議会を組織し1年かけて協議し検討した結果だ。国の補助を受けるため、船の大きさも制限される。10%小型化することで、補助が1割出る。最終的な仕様はまだ決まっていない。

検診や高齢者の病院受診の問題について（天売・焼尻）

◆乳がんの無料券、せっかくの無料券だが、送ってくる時



焼尻地区

期が遅い上、道立羽幌病院では、受ける曜日も受付時間も決まっている。島からでは2日かかりでの受診になるので、その辺を考えてほしい。

国の制度開始時期が遅く送付の時期が遅れた。受診時間については病院に意見があったことを伝えていきたい。

◆高齢者が道立羽幌病院の眼科を受診する人が多い。混んでいるのと受付時間の関係から最低でも2泊3日かかる。島の人だけ受付を電話でできるようにとか、受付時間を融通してもらおうとか、1泊ですむようなんとかしてもらえないか。

◆高齢者が島外で診察を勧められることが増えている。日帰りできる時はいいが、秋から冬はちょっとした検査で行っても

2〜3泊必要。ましてや旭川、札幌ならなお大変。順調に帰れる時はいいが、時化で延びた場合などなんとか特例はないか。

◆年金暮らしの高齢者が多く、病院の受診により生活を脅かされる。先生に進められても行けないことがある。

受付時間の工夫などは道立羽幌病院に強く伝えていくが、離島対策として離島部分の振興計画というか、なにかしら大きな計画をたてて、その中で個々のことを取り組んでいく必要がある。検討してみる。

天売高校の存続について

◆天売高校の存続を訴えたい。日本一小さな高校。過疎対策にも有効。島全体の大きな問題だ。

道立高校の統廃合が厳しく言われているが、基本的には町立高校なので、町の意志が尊重されると道から聞いている。存続したい気持ちは充分持っている。しかし、今年に入学者ゼロ。人数が少なくても入学者がいるうちはいいが、ゼロが続くと厳しい。そうなる前に方策を考えなくてはならない。子どもが少ない中で他町村から呼ぶことも考えるのかも含め、島のみならず話し合うことが必要なのではと

か考えている。

アザラシ対策について（焼尻）

◆アザラシが年々増えている。なんとかしてほしい。資源への影響が心配。最近タコなど顕著に減っている。

国や道にも訴えているが抜本的対策がない。我々も頭を抱えている。他の補償の方法も含めて、今検討しているが簡単にいかない。

マムシ対策について（天売）

◆マムシの駆除を本格的にやってほしい。いろいろな情報や効果を調べたりしてほしい。

懸案事項でもある。看板を見て観光客は驚かれるという話も聞く。どんな方法があるか考えてみたい。

仮に天売でマムシ被害あったらどうなるのか、対応を取れるようにしておく必要がある。それを島民に周知する必要もある。

マムシ対策、対応を含めたマニュアルをまずは整備し作っていく必要がある。

子育て支援 浜のパートナー確保の施策について（天売）

◆若いお母さんが子どもを連れて集える場所があるといい。

ちびっ子ランドがあるが、3歳未満の子が遊べる場所がほしい。また、島内の高齢化で浜のパートナーが足りない。共同生活できる場所があれば、島外から若い人を集めて、何件かの漁師で共同で頼めると思うが。場所があれば、もう一歩話が進むということと思うが、具体的な案などあれば出してほしい。

天売地区

